

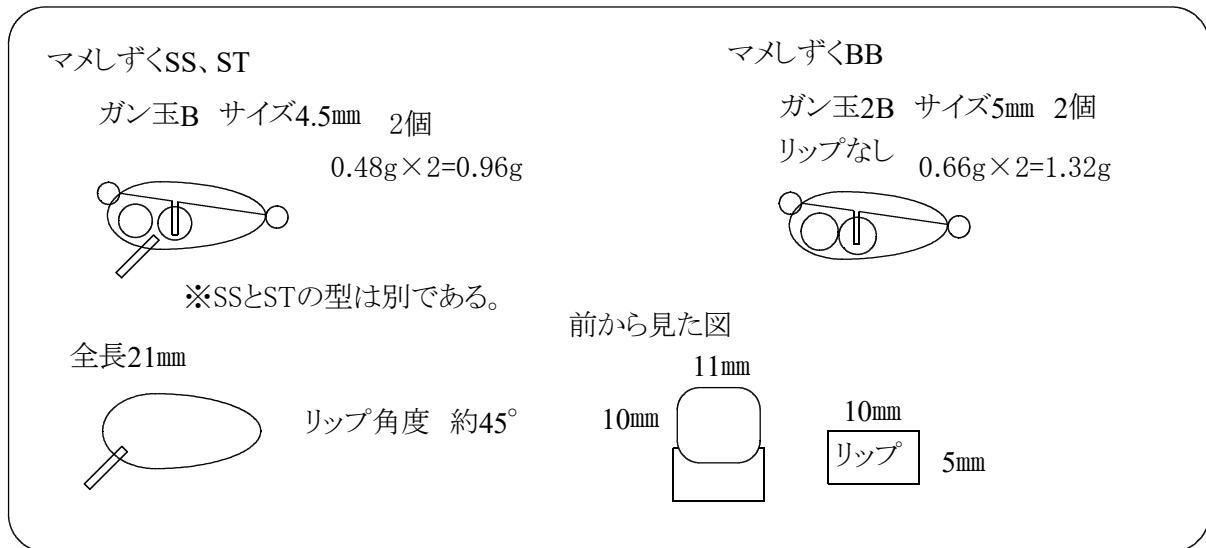
「マメしずく」の作製

2021/05/30

1 はじめに

全長20ミリのマメしずくを作る。

2 全体図



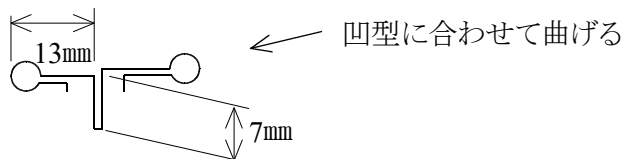
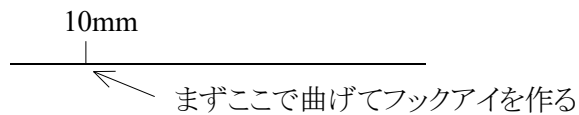
3 ワイヤーストフレーム

(1) スローシンキング (SS)

ガン玉B、ガン玉G1 $0.48g \times 2 = 0.96g$

ワイヤーストフレーム

針金の長さ 55mm



(2) ボトム用 (BB)

ガン玉2B (0.66g) $\times 2$ 個 = 1.32g

ワイヤーストフレームはSSと同じ物を使う。

4 ワイヤーストフレームとおもりの位置

※ガン玉はヨーヅリ製を使う。

形が均一のように思えるため

※ワイヤーストフレームにガン玉をラインアイの方から挟んでかしめる。

※前のおもりは、ワイヤーストフレームにつけたガン玉に接触するようにする。

※後にもおもりをつけるなら、フレームにつけたガン玉に接触するようにす



る。

※ブランク成形時、おもりを埋めすぎない。おもりを半分埋めること。

5 SSとSTについて

SS用として木型を作り直した。したがって、SSとSTは型が異なる。

SS用の型では、ガン玉B2個で試作品を作ったところ、浮く物と沈む物ができた。ちょうど良い重さである。

6 製作手順

<SS>

①ブランクの成形 → 乾燥 30分

②ブランクの整形と浮沈テスト → 乾燥 二晩

ブランクの整形:水を使つてのバリ取り

浮沈テスト:水中姿勢の悪い物は廃棄

③リップの接着とエポキシ樹脂で全体を塗布 → 乾燥 一晩

おもりが大きいので、リップがつけにくい。瞬間接着剤を使う。

2液混合エポキシ樹脂を全体に塗る。リップ周りにはかなり多めに塗る。

④着色 → 乾燥 一晩

※「目」はつけない。

⑤透明アクリルの吹きつけ 4回 1回吹きつけごとに1時間乾燥させる。 → 乾燥 一晩

⑥浮沈テスト 沈下速度の確認 SSかSTかの判断

基準となる「しずくST」より遅い物をSS、速い物をSTとする。

<BB>

ブランク整形と浮沈テストにおいて、沈んでいるときの姿勢の悪いものは廃棄する。

7 色

BB:ボトム用 「桃」、「薄茶」、「ペレット薄茶」

SS、ST: 「黄緑・桃」「蛍光グリーン・蛍光ピンク」「薄茶」

クリアウオーター時:「オレンジ」を追加

※色見本を見ながら色を作ること。

桃 赤+白 1:1だが、赤は少なめに

黄緑 黄+緑+白少し 1:1だが、緑は少なめに

薄茶 茶+白+黒少し

オレンジ 赤+黄

ペレットねずみ 下地色:ねずみ(黒+白) 散らす色 : 白、黒

ペレット薄茶 下地色:茶+黄+白+黒少し (黄土色+ねずみ色、少し黄色っぽくする)

散らす色 : 茶、黒、白

実績

		第2ポンド 2021/1/13		
蛍光ピンク・グリーン	SS			
黄緑・桃	SS			
薄茶	SS	11尾 餌撒き、表層		
薄茶	BB	2尾 表層		
桃	BB	16尾 餌撒き、表層		

<2021/1/26～2021/5/19 8回 まとめ>

マメしずくBB 薄茶 57尾

第2ポンド

2021/1/26 10尾(ボトム2、夕方8尾)

2021/2/7 1尾(ボトム)

2021/2/24 10尾(餌撒き時3尾、その後7尾)

2021/3/24 15尾(餌撒き前6尾、その後9尾)

2021/4/6 17尾

2021/4/26 4尾

マメしずくST 薄茶 18尾

第2ポンド

2021/2/7 7尾(餌撒6尾)

2021/2/24 3尾(餌撒き後)

2021/4/6 1尾、

2021/4/19 6尾

2021/4/26 1尾

マメしずくBB 桃 4尾

第2ポンド 2021/1/26 2尾(デジ巻き)、2021/2/7 1尾(デジ巻き)

第1ポンド 2021/5/19 1尾(表層)

マメしずくST 蛍光GP 2尾

第2ポンド 2021/2/24 1尾、2021/4/6 1尾

マメしずくBB 緑 第2ポンド 2021/4/6 1尾

色の案

	SS	BB
蛍光グリーン・蛍光ピンク	○	
黄緑・桃	○	
薄茶	○	○
ペレット薄茶		○
桃		○
薄緑		

8 おもりの重さ

ヨーヅリ ガン玉

		直径
5B	1.80g	7mm
4B	1.25g	6mm
3B	0.94g	5.5mm
2B	0.66g	5mm
B	0.48g	4.5mm
1	0.40g	4mm
2	0.30g	

鉛球	6mm	1.29g
鉄球	6mm	0.90g
ステンレス球	5mm	0.52g

9 おわりに

とりあえず、完成とする。